

検査説明書：CT検査をうけられる患者さんへ

CT検査に伴う放射線被ばくに関して、以下の説明をよくお読みください。

1. 検査の必要性

本検査を受けることで病気の発見、治療方針の決定及び予後の推定などが的確かつ速やかに行われることが見込まれ、これら患者さんにとって期待される診療上の利益が、検査に伴う放射線被ばく(医療被ばく)のリスクを上回るとの判断に基づき検査依頼されております。検査を受けることの必要性について疑問や不明な点がある場合は依頼医にご相談下さい。

2. 想定される被ばく線量とその影響

本検査は放射線を用いて体内の状態を画像化し、診断や治療に役立てる放射線診療と位置付けられる検査です。検査を受けることで患者さんの身体への医療被ばくが伴います。想定される被ばく線量は患者さんの体格や検査の目的に応じて最適となるよう調整されますが、身体に影響が生じる線量よりも低く抑えられます。従って医療被ばくによる有害な影響の発生リスクは非常に小さいと考えられています。

3. 当院で実施している医療被ばくの低減に関する取り組み

当院では医療放射線安全管理責任者を主体とした線量管理チームによる撮影線量の適正管理を行っており、安全な放射線診療を実施する体制が確保されています。具体的には関係学会により定められたガイドライン等に則った方法で検査に用いる撮影線量の検証と見直しを定期的に行っており、患者さんの被ばく線量低減に努めています。本取り組みの結果、当院における標準的な撮影線量は本邦で定められた撮影線量の目安(診断参考レベル：DRL)の値を常に下回っている事が確認されています。

【連絡先】 (郵便番号) 569-8686 大阪府高槻市大学町2-7 大阪医科薬科大学病院
(電話番号) 072-683-1221 (代表) から各診療科へご連絡下さい。